



必ず良いことがある人のために送る！

DAICHIKUのお得意様向けニュースレター

【発行日】2010年3月31日 【発行人】(株)大築窯炉工業 谷口浩司

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2192-5 TEL0296-72-1444【ホームページ】<http://www.daichiku.jp/>

ウラ面も情報満載

■二人三脚でひとつの作品を創る■古川欽彌さん&雅子さんの八郷葦穂窯■



古川欽彌さん

1965年 佐賀県に生まれる  
1987年 東洋大学卒業  
1991年 小野卓氏に師事  
1994年 波多野善蔵氏に師事  
1996年 坂田甚内氏に師事  
1997年 八郷葦穂窯開窯

古川雅子さん

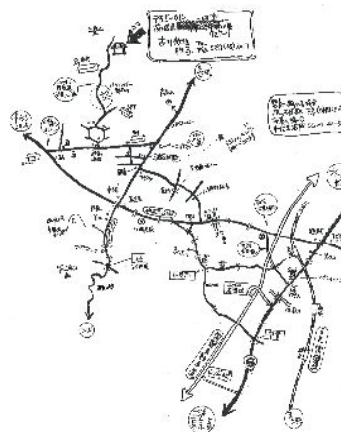
1969年 東京都に生まれる  
1994年 武蔵野美術大学卒業

個展

2006年 池袋三越 美術サロン  
伊勢丹松戸店 特選ギャラリー  
2007年 三越牛久 アートギャラリー  
2008年 池袋三越 美術サロン  
伊勢丹松戸店 特選ギャラリー  
2009年 京王新宿店 美術サロン  
他 回廊ギャラリー門(笠間)  
工芸の丘ギャラリー(笠間)  
もえぎ(益子)

連絡先

〒315-0164  
茨城県石岡市小屋727-9  
0299-43-3017 八郷葦穂窯



【草取りは仕事の基本！】

■谷口: やきものの仕事に就いたきっかけは何ですか？

□古川: 26歳の時、ジャズ喫茶でアルバイトをしていました。そこで常連客の陶芸家に誘われたのがきっかけです。

■谷口: この仕事で何かひとつ心に残る出来事を上げるとすると、どんなことがありますか？

□古川: 萩での修行時代、とにかく草取りをしたことです。独立してからも「草取り」は基本だと思っています。次の個展の構想を練ることができるんです。

【昨日作ったものは、今日は作らない】

■谷口: お客様からどのようなことをほめられるとうれしいですか？

□古川: 「愛用しています」とひとこと言っていただくと嬉しいです。

■谷口: どんなときにやりがいを感じますか？

□古川: お客様に喜んで買っていただいたときにやりがいを感じます。それに尽きますね。

■谷口: 陶芸での名前を「古川欽彌」としたんですね？

□古川: 名前を変えたことで新たなものに挑戦しようという気持ちが芽生えてきて、今は充実しています。新しい自分を創っていける気がしています。

■谷口: 作品づくりで心掛けていることはありますか？

□古川: 「人の真似はしない」とこと、「昨日作ったものは、今日は作らない」ということです。

【蹴りロクロの理由とは】

■谷口: 蹴りロクロを愛用していますが？

□古川: 萩で修行しましたので、作品ではいつも萩を感じていたいんです。

蹴りロクロは土との一体感が得られるし、無駄のない作品作りができると思います。微妙な回転をつくることのできるのはいかにしかないと。

【人生最後の窯だという気持ちで選んだガス窯】

■谷口: 当社のガス窯を選んだ理由は？

□古川: 笠間や益子という窯業地で評判が良いということです。

気軽に使えるレンタル窯もあったり、笠間のことを良く考えていると思いますよ。

■谷口: 大築窯炉のイメージは？

□古川: 良い意味で堅い、と思います。信用もあるんじゃないですか。

うれしい！楽しい！大好き！ダイチク！メッセージ！

■工房の場所を聞くと、この手書きの地図が送られてきました。訪ね来るお客さんのためにいつも用意してあるんだなあ、と思いました。今回、お話を聞いた中で「草取りは基本です」という一見イメージが結びつかない話でしたが、これでわかりました。人が訪ねてきた時に、こざっぱりした場所を出迎えたい、という古川夫妻の気持ちの表れでもあったのです。■萩での経験を仕事として表現し、蹴りロクロを蹴る。一つひとつからだで感じながら作品作りをする古川さん。「二回転半で削りを入れるのが最高なんです」という言葉が印象に残りました。■人生最後の窯と言わず、さらなる飛躍をご期待します。必ず最高の作品が焼けます。



欽彌さんがロクロでつくり、雅子さんが絵付けをした作品。手板の長さは1.8mと長いもの。これも萩仕込み古川さんの特色です。

## ■ユーザーさんの個展情報■



古川欽彌・雅子 作陶展  
1月30日(土)~2月12日(金)  
笠間回廊ギャラリー門



阿部 誠 作陶展  
2月27日(土)~3月12日(金)  
笠間回廊ギャラリー門



島田恭子 陶芸展  
日本橋高島屋 6階美術画廊  
2月3日(水)~2月9日(火)



高橋協子 陶人形展  
1月23日(土)~2月15日(月)  
笠間スペースニコ  
12:00~17:00  
※火曜日定休

## ■弊社利用のレンタルサーバーを(株)大塚商会に変更しました■

大塚商会



■OA機器販売の(株)大塚商会・創業者(現会長)である大塚実氏は益子出身です。大塚氏は古里・栃木の環境保全に役立たせてほしいと一昨年6月6日栃木県に2億円を寄付。大塚氏は益子町の窯元の家に生まれ、古里・栃木への思いは強く、04~05年に益子町に計2億5千万円を寄付し、陶芸家育成のための基金が作られました。現在、益子在住の多くの陶芸家に利用されています。当社は地元陶芸家に対する大塚氏の考え方に賛同し、弊社ウェブページ・レンタルサーバーを(株)大塚商会・アルファメールに変更いたしました。

## ■陶芸羅針盤■温度のはなし■

■摂尔須斯、華連歌以多。実はこれでセルシウス、ファーレンハイトと読むのだ。両者とも人の名前、温度計を作った人である。現代の陶芸ではなくてはならない温度目盛り。このルーツを調べてみました。簡単にまとめると、

- Fahrenheitさん = ファ氏 = 華連歌以多 = 華氏 = カ氏 = ° F
- Celsiusさん = セ氏 = 摂尔須斯 = 摂氏 = セツ氏 = ° C

ということになります。これ以外にも温度目盛りにはいくつかありますが、一般に使われているものの代表がこの二つといえるでしょう。■ファーレンハイト(1686~1736)はオランダ人で温度計の製造業者でしたが、温度計についての科学的な研究も積み重ねたので、ロンドン王認学会(=ロイヤル・ソサエティ)の会員にも推薦されました。ファーレンハイトは1714年アルコールで温度計を作り、1724年水銀温度計を作りました。■その何が面白いかというと、目盛りの刻み方です。当時、この世で一番冷たい温度は「氷と塩を混ぜて融けた寒剤が一番冷たいもの」と思われていたそうです。そこでその温度を0度として、氷の融点を32度、人間の標準体温をその3倍の96度としました。

■どうして32度とか96度という半端な数字かという、欧米人は2で割り切れる数字を好む傾向にあるということです。10より12、100より60が好きなのです。12は最初に3分割して、半分さらに半分すると1/12になり、32ならもっと簡単で、半分を5回繰り返すと1/32になり目盛りを等間隔に刻むことが簡単。というわけでまさに「温度計を作る」という視点でできているといえます。この温度目盛りだと、水の沸点は212度になります。ファーレンハイトの温度計は当時世界一正確で科学者から一般の人まで広く使用されたそうです。■しかし、ヨーロッパの科学者たちの中には10進法を好む人がいました。そのひとりが、セルシウス(1701~1744)。スウェーデンの天文学者でした。彼は水の氷点(融点)と沸点を基準に温度計の目盛りを刻みました。水の氷点を0度、沸点を100度としたのです。これは、いま私たちが使っている温度目盛りと同じです。「°C」というのは「セルシウスさんの温度目盛り」という意味です。現在では、ヨーロッパでは天気予報や体温などは摂氏を使い、アメリカでは華氏を使っているようです。■ちなみに、華連歌以多と摂尔須斯という名前は、日本史にでてくる高野長英(1804~1850)が1837年ごろに書いた『驗温管略説』という本の中で説明しているそうです。

参考文献「温度を計る・温度計の発明・発見物語」板倉聖宣著 仮説社

## ■なるほど！釉陶里炉・学習帳■耐火断熱レンガの規格と用語解説

【B類耐火断熱レンガ】はA類に比べ強度が高く、同程度の使用温度の製品の中では低価格であるため、広く使用されています。

B1~B2は低温炉用、乾燥炉の内張り用及び各種工業の裏張り用として使用され、B4~B7は各種工業炉の内張り用、裏張り用として使用されています。

【用途】

1. 低温炉、乾燥炉の内張り用(B1~B2)
2. 各種工業炉の裏張り用

【用語解説】かさ比重(≒かさ密度)

物質の質量をかさ容積(真容積+密閉気孔+開気孔)で除した数値。簡単にいえば、その物の重さを体積で割った数字です。レンガの場合、体積と言っても無数の穴が開いています。とりあえずこれを無視して、縦×横×高さで体積を出し、重さをその体積で割れば比重が出ます。

B5の寸法は、230×114×65ですから、容積は1,704.3cm<sup>3</sup>です。これに0.8を掛け算すると1,363.44となり、これがB5一個の実際の重さ約1.36kgです。

### 【B類耐火断熱レンガ】

品 種	B1	B2	B4	B5	B6	B7
JIS分類表示	900-0.70-0.26	1000-0.70-0.28	1200-0.80-0.37	1300-0.80-0.39	1400-0.90-0.42	1500-1.00-0.50
規 格						
残存線変化率が±2%を超えない温度(°C)	900	1000	1200	1300	1400	1500
かさ比重	0.70 ≧	0.70 ≧	0.80 ≧	0.80 ≧	0.90 ≧	1.00 ≧
熱伝導率	0.26 ≧	0.28 ≧	0.37 ≧	0.39 ≧	0.42 ≧	0.50 ≧

## ■編集後記「あとかんげん」■

■オランダ人温度計製造業者のファーレンハイトが水の氷点に決めた32という数字。一見中途半端でなじみのないように思えますが、これが意外と奥深い数字でした。32は2で割り切れて1を作るには都合の数字だったのです。■その他32という数字には、サッカーワールドカップの出場国が32カ国、春の選抜高校野球も32校です。デジタル関連では、液晶テレビで良く見かけるのが32インチ、パソコンやプレステの32ビット、メモリーの32メガバイト。その他にも女性の前厄32。円周率を十進数で表したとき、最初に0が現れるのは少数第32位。一般的なサッカーボール切頂二十面体の面の数が32、酸素O<sup>2</sup>の分子量32、チェスの駒数が32、さらに黒と白の升目はそれぞれ32、皇室の十六弁八重表菊紋の花弁数32、成人の歯の本数は親知らずも含めて32本、大相撲の幕内優賞最多記録は大鵬幸喜の32回。マジックジョンソンの背番号32！さらに、この案内32号(?)。最後までお付き合いいただき、ありがとうございました。